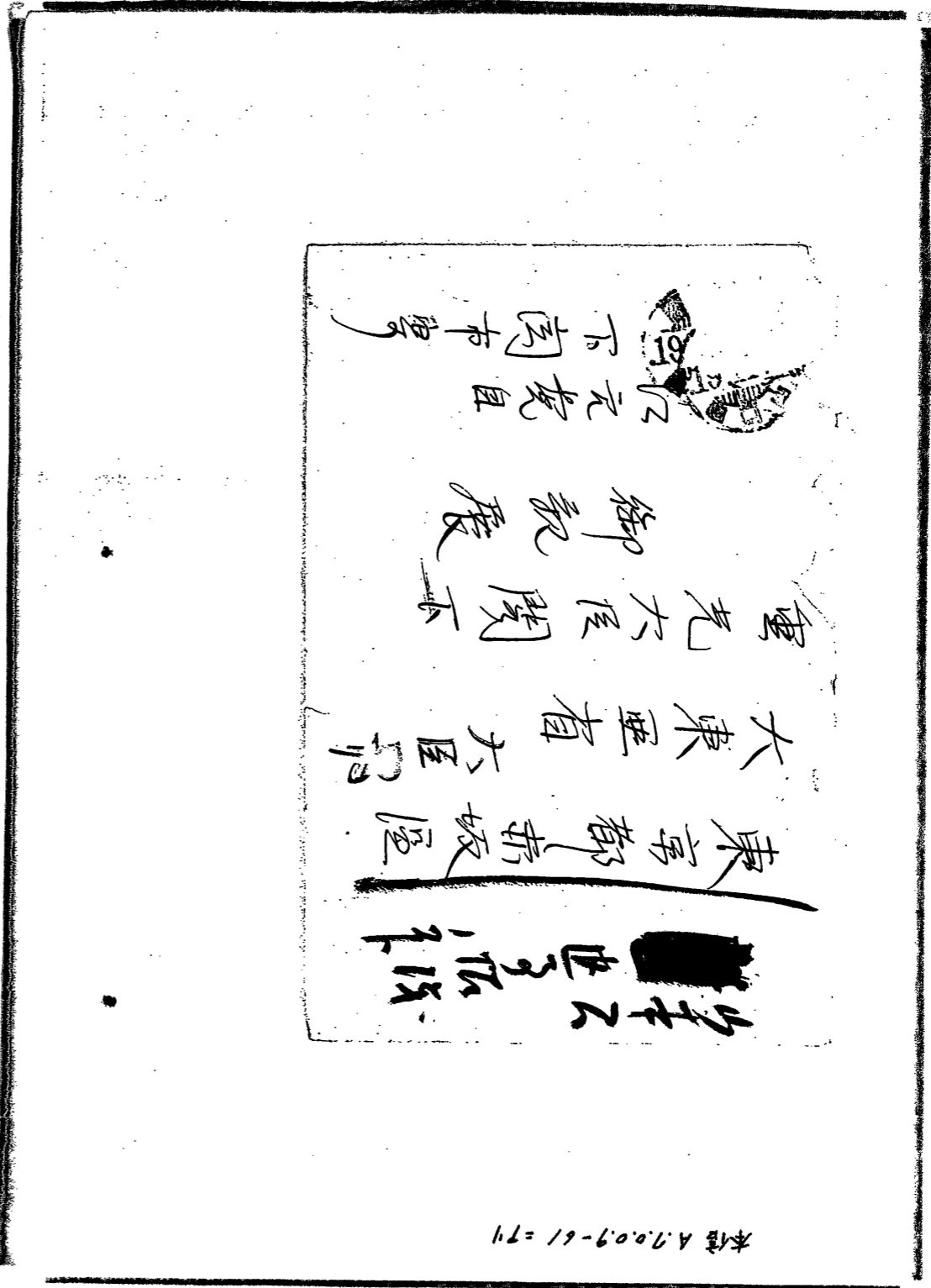


REEL No. A-0723

0364

アジア歴史資料センター



金光大車西相閣下在京以教備荷閱甚英勉有加
 感激無已流中見報南高人事異動調任國務委員
 於是還部之時各處各派無不望所成當加要淘汰已甚從
 此極極無信乃彼與向政事部下多數無以為生且各皆
 欲後博厚制以解政治過動金函和平工作在於極人
 考 ~~Imperial~~ ~~Protector~~ 考 ~~Protector~~ 考 考 考
 閣下予以特許有教後撥別前日似沒將時過影
 孤負期望抱憾為何一切統制早電亦未彼替平加為
 此因係兩國所造出也為國地信也現訂十一月末
 日校回南高通信處南高石鼓路一二號南京大學
 校長室專函仰附印收
 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安

魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安 魏安

大臣 山本

持啓陳者今迄滯草中、種々御指教御高配、極り且御教勵下、至極感激、堪へ
候

御事都於新聞、依り、情事、人事、動静、小生、國村、委員、兼任、居候、事、御
ヲ承知致候、是、遷都、當時、各、党、各、派、無、派、甚、派、一、ニ、シ、テ、南、洋、政、府、に、参、加、せ
要、人、志、々、洵、然、と、居、ら、れ、此、次、亦、有、之、候、小、生、亦、今、ヨ、リ、ハ、其、位、至、極、政、治、
干、渉、セ、ル、コ、ト、ナ、リ、數、多、ノ、都、下、ハ、路、變、ニ、迷、フ、ニ、立、至、リ、候、且、又、各、省、ハ、督、軍
制度ヲ恢復シ、政治公開運動、全面和早工作、を、野、ニ、在、ラ、シ、ハ、著、手、不、レ、シ、衛、士、ニ
至、リ、且、此、才、ニ、御、座、候、閣、下、カ、來、特別、有效、ナル、御、支、援、ヲ、賜、ハ、レ、ル、於、テ、大、
日、御、話、申、上、置、候、儀、ハ、水、記、ニ、據、ル、ト、シ、御、期、待、ニ、背、テ、至、ル、キ、ハ、如、何、也、



遺城ニテ何卒速ニ電報ヲ以テ谷大使ニ告知御料連稱砲臺候 本件 西國 前	進 聞 猶 個 人 地 位 止 止 毛 無 之 候 自 下 迄 十 日 十 五 日 以 後 三 南 京	帰 着 エ 非 予 定 付 御 駈 絡 節 南 京 右 鼓 路 百 十 二 号 南 方 大 学 校 長	室 宛 二 街 頭 中 上 候	先 公 不 取 敢 御 禮 旁 御 健 康 之 程 之 候 敬 具	十一月四日	下関 寺	江 元 虎	重 之 人 幸 皇 大 臣 閣 下	外 省 務
------------------------------------	---	---	-----------------	-----------------------------------	-------	------	-------	-------------------	-------



江亢虎閣下台鑒
 鑑別以來
 際逢旬日
 逢金 文彩
 曷勝依依
 伏維 旅途
 順通 起居
 安善為頌
 下關本賜 大札
 業已拜讀
 所云種種
 俱已敬悉
 所有一切
 請向谷大
 使詳細函
 談以作善
 處想谷大
 使定當為
 閣下效勞
 也尚望多
 自珍重是
 荷專此敬
 覆藉頌
 助祺

外
務
省

本標準規格B5)

REEL No. A-0723

0369

アジア歴史資料センター

極秘

2Aに

へんぶん

A 6. 1. 19

昭和十九年十一月十八日午後三時駐日中華民
 大使蔭持氏官邸ニ東光外相ヲ訪問シテ約三十分
 間會談ス其要領左ノ如シ

蔭 栗ル二十一日出發一寸遅延スルコトニ致シマシタノヲ本日御美
 抄ニ参リマシタ

大 蔭 蔭持ニ参列ノ爲テスカ機弁ノ日取りハ決定シマシタカ
 蔭 蔭持ノ日取ハ未定デアリマス同大長カラ二十日迄ニ歸朝スル機
 ニトノ電話ガ参リマシタガ飛行機ノ都合ガ二十一日ニナリマシ
 タ二十日カニ出願ガ行ハレルコトニナリマセウ出願ハ蔭持ヲ
 蔭民政府ノ大體宜カラ飯後機弁場迄送リ出ス儀式デアリマス

大 蔭 汪主席ヲ蔭持ニハ爲サナイノデスカ
 蔭 政府主席ノ地位ヲ逝去シマシタカラ蔭持ト致スノデセウ

大 蔭 以テニ蔭持サレタ人ガアリマシタカ蔭文ハ蔭持サシタカ
 蔭 蔭持ノ蔭持ニサレマシタガ蔭文ハ蔭持デアリマシタ蔭民蔭
 持ト云フ資格ガ蔭持ニサレマシタ蔭持ト蔭持トノ間ニハ別ニ大

外務省

(日本標準規格B5)

キナ差別ガアリマセム只神文ノ上ニ蔭持カ蔭持カラ書キ込ム位
 ガ異ル所デセウ

大 蔭 大使ハ毎日位歸朝セラルル豫定デスカ
 蔭 往復一ヶ月位ノ留デアリマス。此際日本政府ノ御考ニ付テ何カ
 承ルヲ得バ幸デアリマス

大 蔭 成ルベク早ク歸ツテ来テ下サイ過日名古屋ニ行ツテ蔭持
 夫人ノ代理トシテ周蔭持氏ガ出テテ會ヒマシタカラ其時自分カ
 ラ周氏ニ能ク申シテ蔭持マシタガ其意味ハ汪主席逝去セラレテ
 モ日本ノ中斷ニ對スル政策ニハ何等ノ變化モアリマセム第一ハ
 新政策ノ徹底ヲ圖ルコトデアリマス新政策ノ不徹底ナル點ガア
 ルナラズソレヲ徹底セシムルコトデアリマス第二ハ南京政府ノ
 擴大強化デアリマス南京政府ハ日本帝國ノ承認シタル政府デア
 リマスカラ能ク迄此政府ト協力シテ政策ノ實施ニ努ムル積リデ
 アリマス汪主席ノ元氣ノ主張ハ和平建國デアリマス主席ハ此

外務省

(日本標準規格B5)



的達成ノ爲最速進努力セラレタノデアリマス
 府ノ目的トセラレタル和牛通關ニ全力ヲ聚ケテ努力セラレネバ
 ナラズト思ヒマス
 重要ニ對シ全面和牛ノ工作ヲ爲スコトガ必
 要ナス之ヲ爲ス爲ニハ民間ノ有力者ヲ使フコトモ必要デセウ又
 華北方面トノ協同融和モ必要デセウ日本ハ決シテ日本トノ協力
 者ヲ無視シテ重慶側トノ交渉ヲ爲スコトハアリマセウ
 南京政府
 ハ其中心トナツテ活動セネバナリマセウ
 第三ハ經濟政策デアリ
 マスガ從來經濟方面ノ專門家方中國ノ現状ヲ觀察シテ斷ツテ來
 テ之ガ對策ヲ研究シテ專門家ノ意見主張ガ出來テ磨リマス其專
 門家ノ主張ヲ實施スルコトニハ政府モ軍部モ一致シテ協力實行
 スル積リデアリマス
 農 能ク了解シマシタ何ト申シマシテモ民心ヲ安定スルコトガ大切
 デアリマス
 民心ヲ安定スルニハ政府ガ人民ノ信頼ヲ得ルト云フ
 リマス

外務省

(日本標準規格B5)

コトガ必要デアリマス
 之ガ爲ニハ南京政府ヲ強化スルコトガ必
 要デアリマス
 ソレニハ民間有力者ヲシテ政府ニ協力セシムルコ
 トガ必要デアリマス
 又大臣ノ御説ノ通り華北方面トモ充分ニ協
 同シテ政府ノ強化ヲ圖ラオハナラズト思ヒマス
 議會ヲ見テ全面
 和牛ノ工作ヲ進メオバナラズト思ヒマス
 今度歸リマシタナラバ
 政府當局モ充分ニ大臣御意見ヲ徹底スル様ニ努ヘマシテ充分ニ
 融融ヲ致シ更ニ上海ニ於テ和牛ノ有力者ヲ使フコトモ和牛ノ工作問題ニ
 就テ意見ノ交換ヲ致シテ來ル積リデアリマス
 最近ノ上海物價ハ
 益々高騰シテ米一石(五斗五升)二萬八千元ニ達シタト云フコ
 トデアリマス
 民生ノ苦痛ハ實ニ甚シキモノガアリマス
 之等ノ
 問題モ大ニ研究シテ一日モ早ク民心安定ノ道ヲ講セオバナラズ
 ト思ヒマス
 大臣 ドクガ御歸朝中各方面ト充分協議セラレテ早ク歸任セラレシ
 コトヲ希望シマス(終リ)

外務省

(日本標準規格B5)

本信 A.7.0.0.9-61-74

代二
 重光大臣関下御親披
 山本 通書ノ考下
 試院 絨
 江不更

代二
 重光大臣関下御親披
 山本 通書ノ考下
 試院 絨
 江不更

政 第二課
 最初一枚(追信用)ニ厚手紙寫(方)
 薄手紙綴梅(方)
 (山本)
 四 通
 但し治房物不字
 14 9

皇親大東亞邦閣下其坎東越備恭

優待不私外敬蒙萬宣十六月廿。於五城

首節加 臣故至係執拂元皇曾文倡為

知平泰加政府持也即年若無條必事無道

失立於日期間忽於同化玄識國符未象

事於無聯王見政局查超秩隨在已支獨

於大彼晚矣崎中將對於和平工作個人兩達

如何懇彼但不得其體院用 考 試 美答後必為無名致



文壇前夜 余日坊知平居博内、政治激舞

改革を望み、全商知平大の波切而有要の激

果を協助俾得在、此等中奪向政治、

密着、文能表、余方培、施民、方、對、大、車、運、出、茶

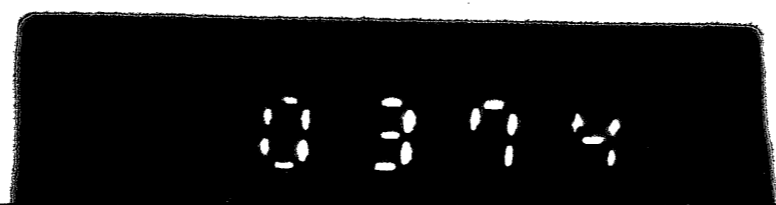
を、懸、慕、一、資、獻、否、則、文、化、教、育、方、而、為、右、等、林

八、計、畫、之、心、焉、而、已、如、何、一、資、院、候

辭、度、敬、函、仰、謝、祇、敬

知、安

試用 院 考
以上 月 林 〇



大目了
 野督降者(今為東遊)際(御款待)歎(与)私(感)激(理)二(御)礼(と)言(ふ)事(も)多(し)又(も)不(味)段(と)松(保)十
 月(二十)日(廿)日(廿)其(情)着(致)往(主)拜(奉)儀(二)大(別)致(候)候(御)幸(と)言(ふ)事(も)多(し)又(も)不(味)段(と)松(保)十
 未(持)二(手)一(在)此(間)之(以)外(駈)主(事)上(へ)平(手)跡(ナ)ラ(之)差(一)以(後)之(由)當(ラ)ズ(カ
 幸(上)人(變)々(キ)ヲ(得)信(今(般)訪(目)中(宗)絶)親(任)職(ヲ)去(リ)ナ(リ)(國)語(本)書(三)載(二)在(一)
 政(向)無(被)益(禮)之(以)入(感)一(層)深(ク)致(信)昨(日)命(人)供(立) 中將(御)訪(来)
 以(輕)罪(作)人(回)之(前)途(一)行(懇)話(致)信(之)指(手)又(自)故(的)文(據)之(得(至)三)天(經)
 惟(之)况(下)情(勢)ニ(在)リ(テ)和(平)地(區)内(行)跡(又)撤(去)的(改)革(之)全(而)和(平)ノ(興)切(迫)且(堅)
 安(々)ト(シ)存(修)方(御)款(待)之(儀)ヲ(幸)生(幸)中(又)一(章)南(之)於(テ)政(治)之(定)規(ヲ)傳(二)至
 之(以)致(之)十(臣)史(側)ノ(手)中(ト)ナ(リ)民(力)ヲ(培)養(之)大(野)並(三)章(一)好(ニ)致(者)之(責)感

7月2日(土)に於て文化教育方面に於て百年大振興計画を策定し、
 (何れも正確なる事項を) 閣下が此際、御注意を賜はるべく、
 如何致し奉るべき事、御成慮、御注意、御取敢、
 御承知、御承知、御承知、御承知、御承知、
 十月二十四日
 江元虎
 皇太子殿下御前
 外務省

外務省

11月7日

昭和十九年十二月十四日

取二 山 一 本

小使船連入中 蔡培大使管駁去領
十二月十四日 蔡培大使船連入中 蔡培大使管駁去領
リ約四十分間會談セリ 會談去領左ノ如

記

外務省

戊

大使 當初一ヶ月ノ決定ヲ 歸朝致シマシタカ 陸公府カ上取スルコト
ニナリマシタノテ 幸北行ヲ見合セ 二十日計リテ 歸任致シマシタ
岡總理ヨリノ御話ハ 詳細致シニ 報告シ又上海テハ 廣島、島作民
李恩浩、吳廷備、陶正亭等ト 意見ノ交換ヲ致シマシタ 如何レモ
下ノ御意ニ 謝シ 同意ノ意ヲ表シ 時機熟シクハ 私人的ニ 備前クヘシ
ト申シテ 居リマシタ

譯者 アアサウテスカ

大使 幸恩浩ハ 岡村總司令官ヨリ 重慶ニ 歸朝ヲ 願ハレサレマ
シタカ 病後ノ 爲息子ヲ 監長ニ 送同ケルコトト ナリ 本月三日 日本軍
ニ 護衛サレテ 上海ヲ 立テ 取ル 地點カラハ 重慶ニ 力出進ヘニ 奉ルコ
トニ ナツテ マス 何レ 慰勞カアルコトト 思ヒ マスカラ アリ 大領員ニ
御報告申上マス

總理 (背カル)

大使 岡總理ノ 御意ニ ナラレマシタ 蔣介石ト 故汪主席トハ 政見

外務省

戊

ヲ共ニスルモ支那ヲ統一スル者ハ結局蔣介石ナリト言フコトヲ
故汪主席カ汪夫人カ論シタトカ言フコトニ付局長海軍公使ニ言ッ
テ見マシタカ兩人共固イテ居ナイト申シテマシタ

薩摩 サウテスカ
八使 次ニ益面和平ニ圖シテテアリマスカ現在益面ニ對スル米國ノ
壓迫カ非常ニ強イ蔣介石自身モ益面和平ニ圖シ仲々決メラレナ
イト思ヒマス宋子文カ行政院長ヲ代行スル様ニアリマシタノモ米
ノ壓力ニ依ルモノト見ラレマスソコテ益面和平ニハ米國ノ長外配
シテ行フコトハ困難テスカラ宋子文ヲ介シテ之ヲ行フト同時ニ日
米間ニ解決ニ當ラシメテハ如何カト思ヒマス若シ宋子文ト蔣
フトルコトニアレハ宋ト益面ニ對シテ切ナル關係アル者ヲヨク知ツテ
マスカラ此ノ人ヲ選シテ行ヘハヨイト思ヒマス但シ此ノ際ハ日本
側ノ御意ヲ爲ト何ツタ上テナクテハナリマセンノテ米カ何ノ手
モ打ツテ居リマセンカ之ニ對スルノ御意ヲ伺ハサセテ取テマシ

外務省

戊

ト思ヒマス

八使 宋子文ノ件ヲ蔣ノ論起ト致シマセウ
八使 宋子文ハ王克敏ト關係深ク又蔣介石トモ關係カアリマスノテ
政府側ノ聯絡人トシテハ王克敏カ最も適任ト存シマス
以上カ今次歸朝ニ際シテノ私ノ御報告テアリマス
八使 宋子文ハ歸ソ來テマスカ
八使 多分重慶ニ居ルト思ヒマス
八使 孔祥熙ハ歸ソ來テマスカ
八使 歸ソ來テ居リマセン
八使 何應欽ハ上海ニ出テ來マセンカ

外務

戊

大 便 目分等モサウナルコトヲ希望シテマス人ヲ返ハシテ何ノ延滞
 ニ付發衙サセテ見タラヨイト思ツテマス然シサウシテモ實現サレ
 ルカ否カハ伺トモ申サレマセヌ
 總理 (有カル)
 大 便 隈公博一行カ本日到着シマスノテ又色々ト御面付ヲ御成ヒ取
 シマス
 總理 何時頃着カレマスカ
 大 便 三時頃テス
 總理 大 便ノ病氣ハヨクナリマシタカ
 大 便 有難ウ御座居マス御座候テヨクナリマシタ
 總理 結婚ナコトテス
 大 便 用兵ハ仲長クヤツテ行ツテマスカ
 大 便 隈公博既日ニ歸シ後武蔵ハ隨行シナイト主張シテマシタカ余
 ル様ニナツタ處カラ見マスト多少好得シタノテハナイカト思ヒマ

外 務 省

戊

ス島京部内ノコトニ付テ自分カラハ甚ダ申難イコトテスカ人初ハ
 日ニ日ニ少クナツテ行ツテ后リ此ノ如テハ寧ニ願リナク思ハレマ
 スカラ是非トモ總理閣下ノ御意ノ後ヲ御慮ヒ致シ長イト存シマス
 伺ト申シマシテモ物價ハ日々社黨シ一般民衆ノ生活ハドクニ倍
 リ民心ハ不安ノ極ニ達シ而モ政府ハ之ニ對シ何等適切ナ施策ナキ
 爲民心ヲ把握スルコトカ出来マセヌ此以テ強ナ許テスカラ一般民衆
 ノ人材ハ仲々政府ニ参加シヨウトハシマセシ
 總理 (有カレタル後) 林相生ト梅尾平トハ近頃仲長クヤツテマス
 カ

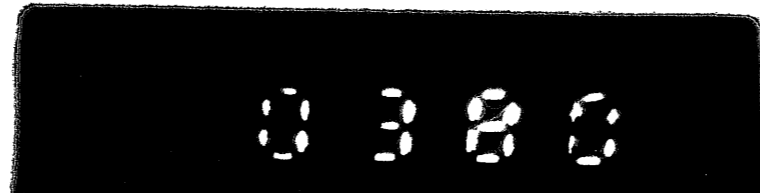
戊

外 務 省

大使 兩人ハ祭壇問題ニ關シ意見ノ衝突ヲシマシタカ今後祭壇問題
 華強ハ軍務委員會ニ移サレルコトニナリ一應是カフキマシタ何テ
 モ林柏生ハ梅恩平ニ對シ祭壇ナノカ勿論ナノカ天レトモ實地ナ
 ノカト言フテ鋭ク詰問ツタサウテス矣スルニ尙且ハ祭壇委員會ツ
 ノモノノ目的カ祭壇テナク收入ニアルコトニ因ルト思ヒマス
 總理 公使派トハトウ言キマスカ
 又トウシテサウ言ハレルノテスカ
 大使 公使派ト言キマス夫レハ當初汪主席カ政府ヲ私邸タル汪公館
 テ執ツテ居タ關係上故汪主席ト特ニ接近シテ居ター派ノ人ヲ言ヒ
 マス
 總理 公使派ト向部海ハ公使派テスカ

戊

外務省



大使 陳公博ハ公館派トセ言ヘマスカ純然タル公館派テハアリマ
 セン周倫海ハ公館派テハアリマセン
 又強民黨ハ故任主席ト就任請願カアリマスカ拜高ニ俄爾ヨリ退
 シテマスノテ公館派トハ言ヘマセン
 總理 サウヂスカ
 海志平、林柏生ハ公館派テスカ
 大使 林柏生ハサウヂスカ極思平ハサウヂテハアリマセン
 總理 サウヂスカ
 陳公博ハ人望カアリマスカ
 大使 故任主席ニ比較シマシタラ問題ニナリマセン同任主席ハ亡ク
 ナフレテカク一替人望ヲ得ルニモリマシタ
 總理 任主席亡キ後陳公博カ主席代トシテゴタゴタカ進フスワマ
 ヲヤツテ行ケマスカ
 大使 例トモ申案ナマストワカ總理ヨリモ函調シテ行ク俣御口派ハ

外務省

(日本標準時B5)

顧ヒマス
 政治ヲシテ行ク上ニ政セ大切ナモノハ人望ナアリマス故任主席ハ
 相當人望カアリマシタカ故任主席ニ人望ヲ得フ人カ高ナイコトカ故
 大ノ僞ミテス
 同派則モ甲上ケマシタカ全團和事ニ對シテ東京派ハ政セ有万ナ一人
 ヲアリマスカラ將來御考慮下サル様御願致シマス
 總理 判リマシタ
 大使 何かマダ御用カ御座居マスカ
 總理 陳公博サント總理ヲ逐ケタ後御願シシ度イコトカアリマシタ
 ラ以メテ電話致シマス
 大使 電話アリ次第早速御用ヒ致シマス
 總理 此方ニ當分信ブレマスカ
 大使 當分信ル皆テスカフ御用ノ節ハ何時ニテモ新上致シマステハ
 本日ハ之テ失禮致シマス
 以上

外務省

(日本標準時B5)

大 3

昭和十九年十一月十五日

山 亭

山 亭

昨十四日蔣大使總理官邸に於て總理ヲ半日会谈セルカ全会谈ニ及ビテ(總理所用為
約束時間ヨリ三十分進レテ会谈セリ)全大使ノ一言ニ為セル談話中何事ヲ考ト
ナルハ其尤ノ通

記

山亭 褚部長詳表ヲ提出セル由ナルカ如何ナル理由ニ依ルモナリヤ

大使 褚部長ハ南京政府ニ於テ國民黨員中ノ最古者ナルカ汪主席遊去後

樞密政務ニテリ格ニナルヲ快シトセス又特ニ汪主席ト既態ノ間柄ニ在リタル間

係上其ノ遊去ノ時ニ痛クカヲ落シタルトモ一因ナリ 当初詳意ヲ極メテ今次

陳博士ノ渡日ニ際シテモ其ノ同行ヲ拒絶シ居リタルカ近着ノ電報ニ一行

秋

中ニ加ハリ格ノ右ニ向者ノ關係多ク好転セルヲ物結トモニシテ全部長ノ

渡日ニ概合ニ日本側ヨリモ懸留セルヘク結局留任スルモノト思考ス

山亭 褚部長ハ故汪主席ト特殊關係アリタリヤ

大使 汪夫人ト褚夫人トハ義姉妹ナリ 然レトモ褚部長ハ派閥關係ニ

社ヲ冷淡ニシテ所謂公館派ニ属シ居ラス

山亭 大使ハ國民黨員ナリヤ

大使 元來汪主席派ナルカ南京政府ノ加以來再三國民黨加入ヲ勸誘セ

ラレ昨年ニ至リ故汪主席ヨリ直接懸念セラレタルヲ以テ遂ニ加入セリ

正道ノ外 民國十三年迄ノ國民黨(雜誌文在中ヲ指スナラン)



ハ人望アリタルモ其後遂に其望ヲ失ヒ執事汪主席逝去後ノ國民院(兩
軍政所)ハ指導者ヲ失ヒ御託ニナラヌ程ノモノナリ

山岸

前考試院長江亢虎氏ハ其党志派ナリトシトナルカ如何(註十月廿

日)江重之大臣ニ会談セル際其党志派ト稱シ塔ヨルモ会人ハ才一年命

後社会党ヲ組織シ其ノ領袖トナリ其代表を凱ノ命ニ依リ全党解散

ヲ命セラレ江米國ニ亡命セリ其後民國十二年ニ至リ再び社会党ヲ

組織シ再度其ノ領袖トナリタル経歴アリ)

大佐

江亢虎氏ハ古キ社会党員ナリ

山岸

今次御帰朝ニ際シ特ニ感ホラレタルコトアリヤ

大佐

政村部内ニ於テハ旧人日ニ乏リサリトテ新人ノ参加ナク一沫ノ寂寞ヲ

ヲ感シタリ

今一ツハ為度ノ事トナリ帰朝ニ此度並ニ物價高ニ一驚ヲ喫スル也

オナリ 一例ヲ舉グレバ下関ヨリ中山陵迄ノ自動車賃ニ一萬元

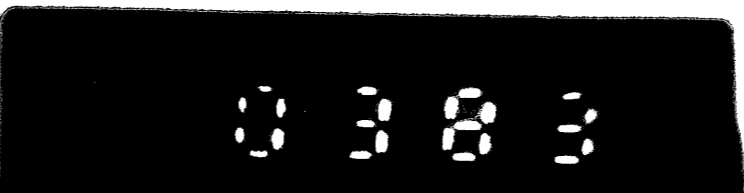
ヲ請ホセシレ米一担(我々五斗五升)カ三万四千元(註郵貨)

積專シ一升百十一円餘)コレヲ近ク千九紙幣發行セラル由ナルカ

其ノ賤ニハ米一担ハ恐ク五萬元台ヲ唱フルニ至ルヘント取沙汰サ

レ者ナリ

以上



秘

昭和十九年十二月十四日

敷二山 本

戊

小使館参事大佐 参事大佐 菅野 長

十二月十四日 参事大佐 参事大佐 小使館参事大佐 菅野 長
リ約四十分間會談セリ 會談長 菅野 左ノ進

記

外務省

大使 當初一ヶ月ノ決定ヲ歸劾致シマシタカ陳公博カ上京スルコト
 ニナリマシタノテ華北行ヲ見合セ二十日許リテ歸任致シマシタ先
 回總理ヨリノ御話ハ詳細政府ニ報告シ又上海テハ顧鳳慶、周作民、
 李恩浩、吳震倫、陶鳳亭等ト意見ノ交換ヲ致シマシタ處何レモ閣
 下ノ御意衛ニ對シ同感ノ意ヲ表シ時機到ラハ積極的ニ働掛クヘン
 ト申シテ居リマシタ

總理 アアサウテスカ

大使 李恩浩ハ陶村總司令官ヨリ重慶僑ト和ヲ執ル様依頼サレマ
 シタカ病後ノ爲息子ヲ重慶ニ差向ケルコトトナリ本月三日日本軍
 ニ護衛サレテ上海ヲ立チ或ル地點カラハ重慶僑カ出迎ヘニ來ルコ
 トニナツテマス何レ聯絡カアルコトト思ヒマスカラアリ次第更ニ
 御報告申上マス

總理 (背カル)

大使 尙總理ノ御意ホニナラレマシタ「蔣介石ト故社主席トハ政見

外務省

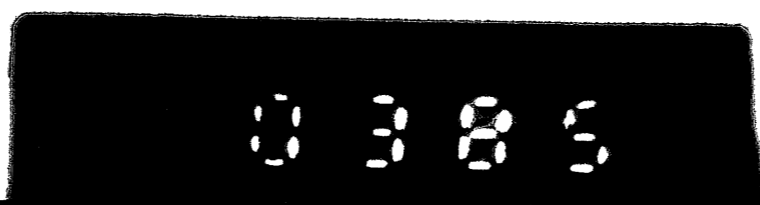
戊

ヲ與ニスルモ又那ヲ統一スル者ハ結局蔣介石ナリト言フコトヲ
 故社主席カ汪夫人カ煽シタトカ言フコトニ付局外陳公博ニ當ツ
 テ見マシタカ兩人共同イテ居ナイト申シテマシタ

總理 サウテスカ

大使 次ニ全面和平ニ關シテアリマスカ現在重慶ニ對スル米國ノ
 壓迫カ非常ニ強イ蔣介石自身モ全面和平ニ關シ仲々決メラレナ
 イト思ヒマス宋子文カ行政院長ヲ代行スル様ニアリマシタノモ米
 ノ壓力ニ依ルモノト見ラレマスソコテ全面和平ニハ米國ノ度外視
 シテ行フコトハ困難テスカラ宋子文ヲ介シテ之ヲ行フト同時ニ日
 米問題ノ解決ニ當ラシメテハ如何カト思ヒマス若シ宋子文ト聯絡
 フトルコトニアレハ宋ト德メテ密切ナル關係アル者ヲヨク知ツテ
 マスカラ此ノ人ヲ廻シテ行ヘハヨイト思ヒマス僅シ此ノ事ハ日本
 側ノ御意衛ヲ爲ト何ツト上テナクテハナリマセンノテ宋ト何ノ事
 モ打ツテ居リマセンカ之ニ關スルハ御意衛ヲ何ハサセテ察スルイ

外務省



ト思ヒマス

總理 宋子文ノ件ヲ將來ノ關係ト致シマセウ

大使 宋子文ヘ王克敏ト關係深ク又蔣介石トモ關係カアリマスノテ

政府側ノ聯絡人トシテヘ王克敏カ最モ信任タト存シマス

以上カ今次歸朝ニ際シテノ私ノ御報告デアリマス

總理 宋子文ヘ歸ツ來テマスカ

大使 多分重慶ニ居ルト思ヒマス

總理 孔祥熙ヘ歸ツテ來テマスカ

大使 歸ツテ來テ居リマセン

總理 何廉欽ヘ上海ニ出テ來マセンカ

外務省

成

大使 自分等モサウナルコトヲ希望シテマス人ヲ遣ハシテ何ノ趣
 ニ付接衝サセテ見タラヨイト思ツテマス然シサウシテモ實況サレ
 ルカ否カハ何トモ申サレマセヌ
 總理 (育カル)
 大使 陳公博一行カ本日到着シマスノテ又色々ト御面會ヲ御願ヒ致
 シマス
 總理 何時頃着カレマスカ
 大使 三時頃テス
 總理 大使ノ病氣ハヨクナリマシタカ
 大使 有難ウ御座活マス御座候テヨクナリマシタ
 總理 結構ナコトテス
 附京ハ仲長クヤツテ行ツテマスカ
 大使 陳公博氏日ニ際シ韓民道ハ隨行シナイト主張シテマシタカ米
 ル様ニナツタ處カラ見マスト多少好轉シタノテハナイカト思ヒマ

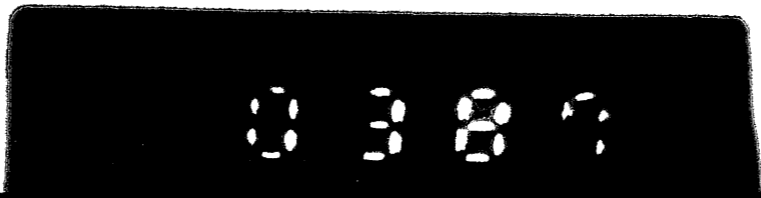
外務省

戊

ス兩京部内ノコトニ付テ自分カラハ甚ダ申難イコトテスカ人材ハ
 日ニ日ニ少クナツテ行ツテ估リ此ノ儘テハ甚ニ頼リナク思ハレマ
 スカラ是非トモ總理閣下ノ御又)後ヲ御願ヒ致シ候イト存シマス
 何ト申シマシテモ物價ハ日々狂騰シ一般民衆ノ生活ハドクニ陥
 リ民心ハ不安ノ極ニ達シ而モ政府ハ之ニ對シ何等適切ナ施策ナキ
 爲民心ヲ把握スルコトカ出来マセヌ此以テ極ナ諄テスカラ一般在野
 ノ人材ハ仲々政府ニ参加シヨウトハシマセン
 總理 (育カレタル後) 林相生ト梅忠平トハ近頃仲長クヤツテマス
 カ

外務省

戊



大使 兩人ハ禁煙問題ニ關シ意見ノ衝突ヲシマシタカ今後禁煙勸告
 事項ハ軍務委員會ニ移サレルコトニナリ一應免カフキマシタ何テ
 モ林相生ハ梅思平ニ對シ禁煙ナノカ勸告ナノカ夫レトモ賣煙ナ
 ノカト言フテ孰ク話ヲタサウテス要スルニ問題ハ禁煙委員會ソ
 ノモノノ目的カ禁煙テナク收入ニアルコトニ因ルト思ヒマス
 總理 公館派トハトウ言キマスカ
 又トウシテサウ言ハレルノテスカ
 大使 公館派ト言キマス夫レハ當初汪主席カ政治ヲ私邸タル汪公館
 テ執ツテ居タ關係上故汪主席ト特ニ接近シテ居ター派ノ人ヲ言ヒ
 マス
 總理 陳公博ト周佛海ハ公館派テスカ

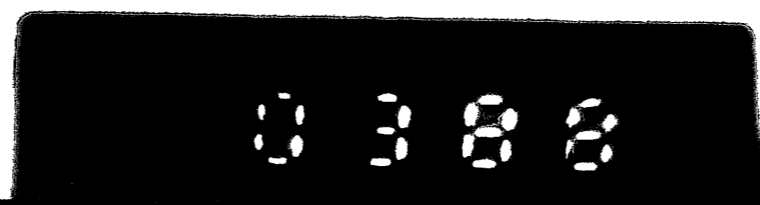
外務省

戊

大使 陳公博ハ公館派トモ言ヘマスカ純然タル公館派テハアリマ
 セン周佛海ハ公館派テハアリマセン
 又梅民龍ハ故汪主席ト親戚關係カアリマスカ非高ニ激闘ヨリ退職
 シテマスノテ公館派トハ言ヘマセン
 總理 サウデスカ
 梅思平、林相生ハ公館派テスカ
 大使 林相生ハサウテスカ梅思平ハサウテハアリマセン
 總理 サウテスカ
 陳公博ハ人望カアリマスカ
 大使 故汪主席ニ比較シマシタラ問題ニナリマセン尙汪主席ハ亡ク
 ナラレテカク一會人望ヲ得ルニ適リマシタ
 總理 汪主席亡キ後陳公博カ主席代理トシテゴタゴタカ起クスウマ
 クヤツテ行ケマスカ
 大使 例トモ申兼本マストウカ總理ヨリモ協同シテ行ク儀御口儀ハ

外務省

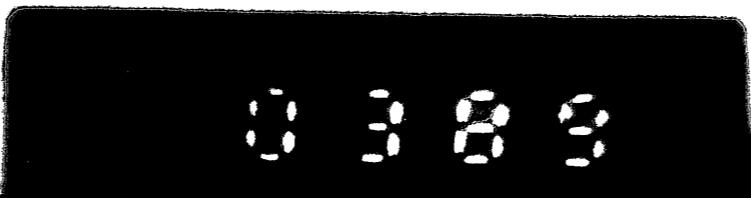
(日本標準規格B5)



願ヒマス
 政治ヲシテ行ク上ニ成セ大切ナモノハ人選ナアリマス故に主権ハ
 相區人選カアリマシタカ後編者ニ人選ヲ指フ人カ居ナイヨトカ最
 大ノ漏ミテス
 尚尤刻モ甲上ケマシタカ全編和平ニ對シ王京級ハ最モ有刀ナ一人
 ナアリマスカヲ將來御者編置キ下サル機御願致シマス
 總理 判リマシタ
 大使 何かマメ御用カ御座居マスカ
 總理 麻公博サント懸談ヲ遂ケタ後御願シシ度イコトカアリマシタ
 ナリメテ電話致シマス
 大使 電話アリ次第早速御同ヒ致シマス
 總理 此方ニ當分居フレマスカ
 大使 當分居ル者テスカヲ御用ノ際ハ何時ニテモ新上致シマスナハ
 本日ハ之ヲ失致致シマス
 以上

外務省

(日本標準規格B5)



極秘 陸海軍 陸軍 海軍 陸軍 海軍 陸軍 海軍

加藤 龍彦 二部 スミ

重光大臣 褚民誼 外交部 長會談録
 (昭和十九年十二月十九日 於 外務大臣官邸)
 褚民誼 外交部 々長 ノ 旅程等ニ關シ 雜談ヲ交シタル後
 褚 貴大臣モ 御聞及ヒノコトト存スルモ 故汪主席歿後 自分ハ 辭意ヲ
 懷キ 居リタルモ 谷大使ヨリ 各種々話アリ、陳公博、周佛海 兩氏ヨ
 リモ 慰留セラレタリ。陳主席カ 今回來訪ニ際シ 御伴スルコトヲ得
 小磯總理及 貴大臣ニ 御目ニカカルヲ得テ 甚タ喜ハシキ次第ナリ。
 大臣 駐日大使トシテ 又 外交部 々長トシテ 自分カ 御懇意ニ 御願ヒ
 又 日本側ノ 敬愛置ク能ハサル 貴部長カ 中國ノ 樞要ナル地位ニアル

大東亞省

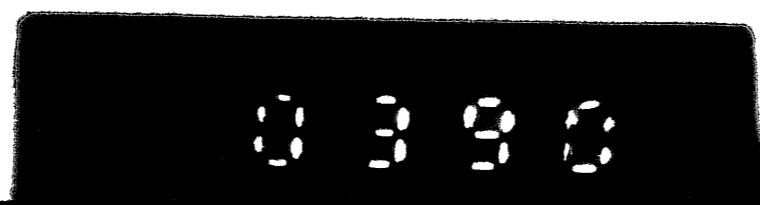
(東京 437) (日本標準規格 15)

極秘

ハ誠ニ 心強キ 次第ナリ、汪主席ノ 死ハ 誠ニ 悲シキ 限りナルカ 貴部
 長カ 元氣ニテ 活躍セラルルコトハ 故汪主席ニ 對シテモ 當然ノコト
 ナリト 考ヘ 御留任ニナルコトヲ 自分ハ 喜ヒ 居ル 次第ナリ。
 褚 私人ノ 辭職ヲ 望ミタル 第一ノ 原因ハ 汪主席 逝去サレテ 願ル 藩臆セ
 ル爲ナリ、何トナレハ 自分ハ 故汪主席トハ 特ニ 親シク 國民革命ノ
 同志ニシテ 佛國留學時代ノ 同窓ニシテ 結婚シテハ 親戚トナリ、民
 國二十一年 故汪主席カ 行政院長ナリシトキノ 秘書長ニシテ、又和
 平運動起ルヤ 同志トシテ 共ニ 働キ 南京還都後ハ 汪院長ノ 下ニ 外交
 部 々長トシテ 使ヘタル 深キ 關係アリ、第二ノ 原因トシテハ 國民政
 府還都後 外交部 々長トナリ 續イテ 駐日大使トナリ、又再ヒ 外交部

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 15)



部長ヲ勤メ來レル爲些カ疲勞ヲ覺ヘ居ルカ爲ナリ、第三ノ原因トシテハ現在中國ハ經濟問題複雑化シ居リ官公吏ハ生活ニ窮シ居ル有様ナリ、自分個人ノ生活ニハ困ラサルモ文物保管委員會委員長、及外交部々長トシテ多クノ貧窮シ居ル部下ヲ有シ此ニ對シ補助ヲ與ヘ來レルモ、最早之以上^手ヲ盡シ得サルヲ以ツテ職ヲ辭シ責任ヲ免セラレントセルニアリ、第四ノ理由ハ和平運動ハ故汪主席カ開始セルモ未タ目的ヲ達シ居ラス、自分モソノ同志ノ一員ナルヲ以テ身ヲ退キ後進ニ道ヲ譲リ度トノ考ヘモアリタリ。此ノ度主席ノ伴ヲシテ渡日セルカ日本ニ於テ知人ハ自分ヲ重ク見テ下サレ誠ニ感謝ノ至リナリ、特ニ閣下ノ催サレタル先夜ノ宴會ニ際シテハ

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 15)

御挨拶中ニ於テ過分ノ御褒ノノ言葉ヲ賜リ恐縮ナリ、今回陳主席ノ渡日ニ際シ隨行セルハ陳主席最初ノ渡日ナルヲ以テ職ヲ辭シテ同行セサルハ宜シカラス且今回陳主席ハ重要ナル問題ヲ携ヘ來朝セラ^ルコトトナリタルカ爲ナリ。又自分カ隨行セサレハ國民政府ノ部内不統一ノ疑ヒヲ受クルヲ憂ヒタル爲ナリ。自分ハ陳主席ト小磯總理及貴大臣トノ會談ニハ立會ハサリシモ其ノ内容ハ承知致シ居リ、今朝出發前陳主席ハ自分ニ對シ貴大臣ニ面接ノ上北支問題、民需及軍需ノ問題等ニ關シ種々御願ヒセル點ヲ早急ニ解決シ下サル様御依頼セヨト申シタリ

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 5)

日本ハ中國ニ於ケル、租界及治外法權ヲ撤廢スヘキ旨聲明セラレ、
現實ニ租界ノ回收ト課稅權ノ一部撤廢トヲ認メラレタリ
然レトモ内河航行權警察權等ハ依然殘存シ居レリ即チ治外法權ニ
關シテハ未ダ全般的拋棄ハ實現シ居ラス、日本側ハ之カ爲委員ヲ
作り上海ニ於テハ田尻公使、又其ノ後ノ宇佐美公使南京ニ於テハ
堀内公使等カ夫レ夫レ任命セラレ非常ニ熱心ナルモ之ニ對スル國
民政府側ノ對象ナシ、故ニ國民政府側ニ於テ治外法權撤廢委員會
ヲ設クルコト策ヲ得タルモノナリト考フ。右ニ關シテハ今日迄ハ
司法行政部ニ對内的ノ一部局アリタルノミナリ、右委員會ヲ創設
スルコトハ中央政治委員會ヲ通過シ其ノ後自分ハ條令及豫算ヲ提

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 26)

出セルカ目下審査中ニシテ來年早々ハ成立スルモノト考フ。本日
ハ如何ニ本委員會ヲ活用スヘキヤ日本側ト如何ニ連絡スヘキヤニ
關シ御教示ヲ仰キ度
日本ニ於テハ明治維新後治外法權撤廢ニ多大ノ努力ヲ致サレ且ツ
成功セラレタルカ其際多數ノ専門家カ討論研究ノ上有終美ヲ爲サ
レタルハ熟知シ居ル所ナリ。中國ニ於テモ治外法權ノ問題ヲ十分
検討シ日本側トモ意見ヲ交換シテ行キ度シト存ス
大臣 御趣旨ニハ贊成ナリ。中國ニ於ケル治外法權撤廢ノ問題ハ自
分カ大使在任中其基礎ヲ築キタルモノナルカ之ヲ實現スル爲研究
ヲ進メラルルコトハ結構ナリ。然シ中國ノ現情ヲ以テシテハ内河

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 15)

航行權等實際ニ行ヒ得サルモノアリ。今次戦争ニ勝利ヲ得ハ直チニ實行出來ル問題ナルモ目下研究時代ニシテ其ノ基礎ヲ固メ置ルカハ戰勝ノ曉ニハ直チニ實行ニ移シ得ル次第ナリ。右ノ如キ研究方法ニ關シテハ大使ト御話合アリタルヤ

褚 谷大使ニハ本案ヲ御話シ居ケリ。大使カラモ東京ニ電報アリタル筈ナリ。本機關ハ準備機關ニシテ討論ノ機關ナリ。斯ノ如キ機構ナキハ戦争終了後初メテ問題ニ着手スルコトナリ。甚タ遅ルル譯ナリ。今ヨリ總テ準備シ置ク必要アリ。内河航行權ノ問題、内地雜居ノ問題、治外法權撤廢ノ準備トシテノ中國法制ノ問題等長期間研究準備ヲ要スルモノナリ。若シ日本政府ニ於テ

大東亞省

(東京 437) (日本標準時 15)

此ノ治外法權委員會ノ組織ニ御賛成ナラハ此カ成立ヲ促進シ研究ヲ重ネシノ日本側委員ノ御教授ヲ受ケ度
大臣 御主旨ニハ賛成ナリ良ク大使ニ話シ置クヘシ。
褚 大使ニ宜敷ク御話置キ下サレ度歸寧後ハ直チニ本問題ニ着手致スヘシ。陳主席ノ懇談中觸レタル問題中軍需ト民需トノ關係ノ問題及米ノ問題カ最モ重大ナリ。米ハ中支ニ於テ非常ニ騰貴シ、一昨日ハ六萬「ドル」トナリシモ舊正ニハ十萬「ドル」トナル惧アリ。此ハ大ナル社會問題ニ發展スル惧アリ。陳主席ハ軍需品トシテ軍カ何ヲ欲スルカチ日本側ヨリ提出シ中國カ此ヲ提供スル様致シ度三年前日本側トノ間ニ一ツノ協定アリ、右ハ中國側ニ於テハ

大東亞省

(東京 437) (日本標準時 15)

9

實業部ノ下ニアリタル糧食管理部長日本側ニ於テハ澁澤氏トノ間ニ取結ハレタルモノナリ。此ハ外交部ノ觸レサリシ問題ナルヲ以テ今後取上ケテ見タシト存ス

大臣 右ハ業務協定ニ非サルヤ、外交部ハ此ヲ如何ニセントスルヤ

褚 軍米地區ノ問題ナリ

大臣 外交部ニ於テ米ノ問題ヲ扱ハントスルヤ

褚 中日間ノ協定ナルヲ以テ外交部ヲ通スル必要アリ。

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 F5)



大臣 糧食管理部ヨリ外交部ニ對シ何モ話シナキヤ
 褚 自分ハコノ事ヲ全ク承知セス、或ハ自分カ、駐日大使ノ時代
 ノ事ナリシヤモ知レス
 大臣 業務上ノ取り決メハ官廳間ニ行ハルル事各國ニモ例アリ例ヘ
 ハ大藏省等ニ於テソノ事多シ。カカル場合ハ業務官廳ヨリ外務
 省ニ連絡スル事普通ナリ。トニカク自分ノ方ニ於テモ取り調ヘ
 見ルヘシ。
 蔡 本協定中ニハ軍需米ハ日本側カ收買スルモ民需米不足スル場
 合ハ外米ヲ輸入シコレヲ補填スル事ヲ定メ有リ。然レトモ最近
 ハ外米ノ輸入セラレタル事ナシ

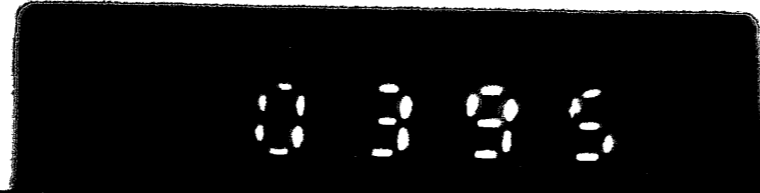
(東京 437) (日本標準規格 155)

大東亞省

大臣 外米モ出來得ル限り輸入致シタキモ戰爭ノ關係上目下ハ船腹
 ナク輸送不能ノ狀況ニ有リ、中國モ共同戰爭ニ從事シ居ラルル
 處ソノ位ノ御諒解無キヤ
 蔡 斯ノ如ク米價高騰スルニ於テハ果シテ軍需米モ收買シ得ルヤ
 否ヤノ問題トナルヘシ
 大臣 兎ニ角米ノ問題ハ大問題ナリ
 褚 現在收買ノ狀況ハ先ニ述ヘタル協定ニヨリ軍收買區域ヲ定メ
 中國側ハソノ區域内ニテ收買シ得サル事トナリ居レリ。日本側
 ハソレ以外ノ地區ニ於テモ收買スルヲ以テ米價ハ高騰ス。自分
 ハ日本側ヨリ中國側ニ必要量ヲ申シ入レ中國側ハ自ラ收買ニ當

(東京 437) (日本標準規格 155)

大東亞省



右必要量ヲ確保セハ可ナリト存ス、以前ハ中國側ニ收買ヲ委任セハ米カ集ラヌ心配アリタリト存スルモ今日ニ於テハソノ憂ナシ、政府ハ公定價格ヲ以テ收買ニ當リ價格ヲ一定規準ニ止ムル事ヲ得ト考フ先キ程蔡大使カ述ヘタル如ク該協定中ニハ民需米ニ不足アル時外米ヲ以テ補填ストノ事アリ今日ハ戰爭中ノ爲右ノ困難ナルハ諒解シ居レリ。軍側ト中國側トカ競走收買セハ價格高騰スルハ明ナリ。軍ハ必要量以上ノ米ヲ買ヒツケ高キ米ヲ以テ他ノ物資ト交換シ居ルモ右ハ次々ヘト他ノ物資ノ騰貴トナリテ波及ス

大臣 陸軍大臣又ハ柴山次官ト話シセラレタルヤ

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 B5)

褚 陳主席カ話サレタリ

大臣 貴部長モ相當期間滯京セララルヲ以テ軍當局ニ話シ置カレタリ

褚 機會ヲ見テ話スヘシ、前述ノ協定ニ就キ其ノ存否ヲ外務省ニ於テモ御取調ヘ願ヒ度シ自分モ歸寧ノ上ハ取調ヘ内容ヲ明ニシタル上本件ヲ取り上ケテ見度シト存ス陳主席ノ話サレタルソノ他ノ問題即チ經濟問題、北支問題、蒙疆問題等速ニ實現セララルヤウ御願ヒ致シ度シ

次ニ御報告致シ度キ事アリ、三藏法師ノ事ナリ

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 B5)



14

民國三十一年十二月二十三日高森部隊カ始メテ發掘シテ以來丸二年目ナル來ル二十三日分骨カ東京ニ到着シ上野ニ於テ供養ノ式取リ行ハレ自分モ出席スル積リナリ。此ノ事ハ清水書記官ニモ話シ置キタリ。南京ニ於テ高森部隊カ發掘致シテ以來三藏法師ノ骨ハ文物保管委員會ニ於テ保管シ來レリ其ノ間自分モ東京ニ來リ茶會等ヲ催シ各方面ノ機運ヲ醸成スルニ努メタリ。最初毘盧寺ヲ擴張スル計畫アリタルモ三藏塔ヲ建立スル事ニセリ。谷大使閣下モ貴大臣ノ後ヲ受ケ南京ニ來ラレ大ニ御援助下サレタリ。

三藏塔ハ客年九月二十二日百五十萬ノ豫算ヲ以テ着手シ本年三月藏成ノ豫定ナリシモ「セメント」其他ノ資材關係ノ爲遲レ本年九

大東亞省

(東京 437) (日本國華風誌 85)

15

月藏成シ十月十日双十節ヲ期シ落成式ヲ舉ゲタリ。右式典ニハ宇垣大將、坂西中將、水野氏其他大東亞省ヨリモ人ヲ派セラレ盛大ヲ極メタリ且附藏品ヲ贈ラレタルハ感謝ノ至リナリ。此ノ事ハ既ニ貴大臣モ御承知ノ專トハ存スルモ御報告申シ上ク。以前ノ計畫ニヨレハ三藏塔ハ中國側、三藏殿ハ日本側カ費用ヲ負擔スル事トナリ居リタルカ資金ハ別問題トシテ材料不足ノ爲三藏殿ノ建立ハ戰後ニ譲リタリ。附近ニ地藏殿アル爲此ヲ修理擴張シテ暫時三藏殿ノ代リト致シ度所存ニシテ右改造ハ來年一月末ニ完成ノ豫定ナリ。費用ハ約二百萬ニシテ殿ノ兩側ニ聖阿チ造ル計畫ナリ。コノ費用ハ既ニ自分カ上海ニ於テ調達セルヲ以テ必配ナシ。戰後三藏

大東亞省

(東京 437) (日本國華風誌 85)



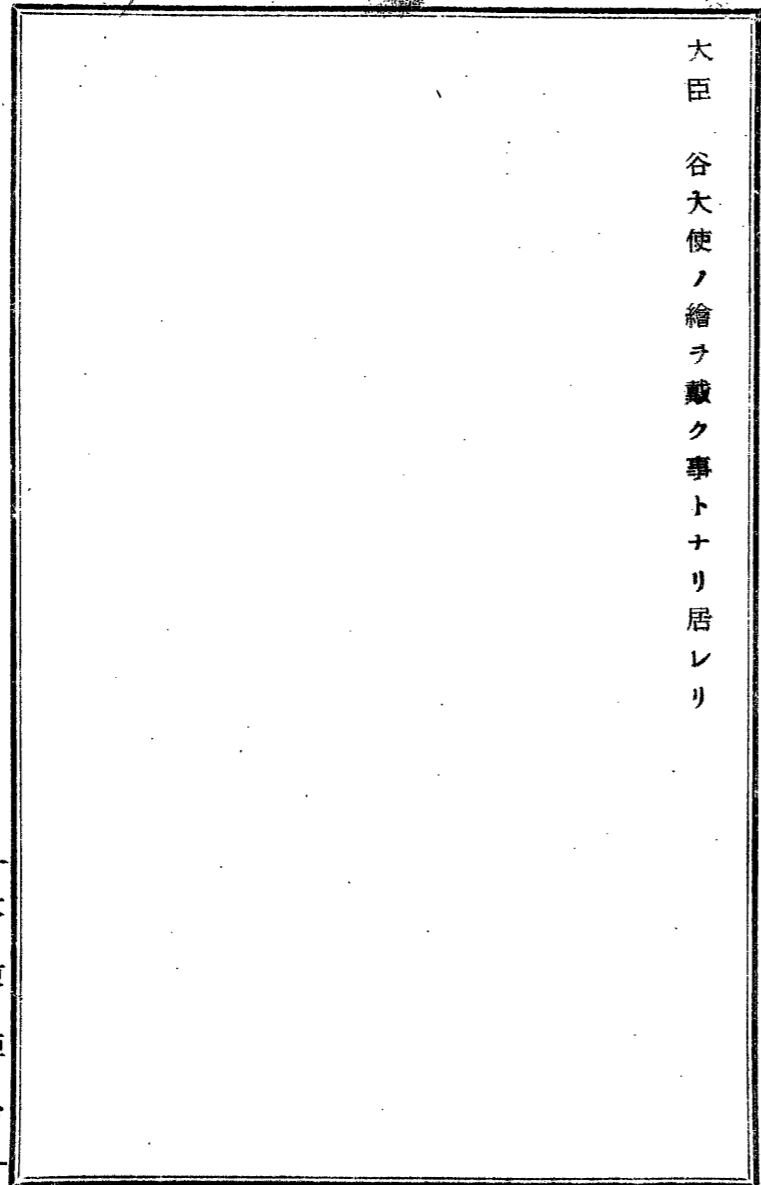
16

塔ト地藏殿トノ中間ニ三藏殿ヲ建造致シ度シ
 大臣 コレハ貴部長カ致サレタル大事業ナリ、自分モ大ナル寺ヲ建
 立セント思ヒ日本側ニモ澤山同志出來寄附モ直チニ募リ得ル狀況
 ナルモ戰時中物資不足ナルヲ以テ不本意乍今ノ建物ニテ當分満足
 セサルヲ得サルヘシ
 鷄鳴寺ト三藏塔ト毘廬寺トヲ結フ一角ハ國民政府ノ發生ノ地モア
 リ記念ノ場所トシテ保存致シ度
 楮 今申シタル如ク地藏殿ヲ擴張シ暫ク三藏殿ニ代ヘ度キモ本殿建
 立ノ場合ハ現在ノ物ハ前殿トナル筈ナリ。現在ハ物資不足ナルヲ
 以テ之ニテ一段落ト致シ度シ、三藏殿ノ寫眞ヲ見ラレタルヤ

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 25)

17



大臣 谷大使ノ繪ヲ戴ク事トナリ居レリ

大東亞省

(東京 437) (日本標準規格 F5)



張國鈞政府

昭和二十年一月二十三日午後四時駐日中華民國大使
蔡培氏馬玉生秘書官同伴外相官邸ニ重光外務大臣ヲ
訪問シ約二十分間會談ノ後大臣カ議會ニ出席ノ爲出
テ行カレシ後大使ハ居残り更ニ林出ト約三十分間會
談ノ後辭去ス
談話要領左ノ如シ

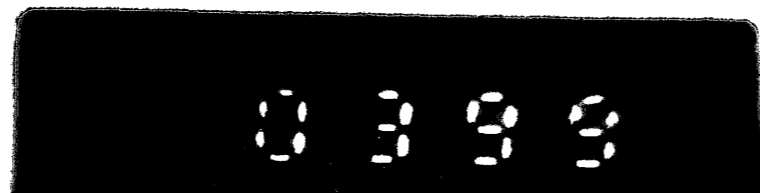
先ツ大使ヨリ義ニ陳主席代理ニ賜リタル勳章ニ對スル陳主席代理ヨ
リ
聖上陛下ニ對スル感謝ノ親書ヲ大臣ニ手交シテ感謝ノ意ヲ表シタル
後
大使 重慶政府ハ今尙其態度ヲ改メス全面和平問題ハ此儘ニテハ殆
ト絶望ト云ハネハナリマセヌ從テ何カ他ニ適當ナル方法ヲ考ヘテ
ケレハ日支兩國關係ノ改善ハ困難ト思ハレマス
過日上海ヘ歸ツタ時ニ得タ消息デアリマスカ近來延安政府方面デ
ハ三三制ト云フコトヲ主張シ出シテ一般支那人ノ注意ヲ煽テ居ル

外務省

様デアリマス三三制ト云フコトヲ大臣ハ御耳ニセラレタコトカア
リマスカ

大臣 三三制ト云フノハ何デスカ
大使 三三制ト云フノハ重慶政府ノ如ク國民黨ノ一黨ヲ以テ政權ヲ
把握シ國民黨以外ノ者ニハ一切政權ニ關與セシメヌノ三三制ニテ支那
ノ中央政府ハ共產黨三分國民黨三分以上ノ兩黨以外ノ一般カ三分
ツツ公平ニ分擔シテ組織スヘキモノデアルト云フノデス之ハ重慶
ノ國民黨專制ニ對スル攻撃ノ武器デアルト同時ニ黨以外ノ一般人
ヲ引付クルニ非常ニ力アルモノト見ヘマス一般ハ此說ニ對シテ好
感ヲ持チ歡迎シテ居ル様ト風モ見ヘルノデス
南京政府カ成立ノ當初ハ一黨一派ニ偏セス廣ク人材ヲ集メテ強力
政府ヲ組織スル旨ヲ標榜シテカラ次第ニ其主張ヲ變シテ何時ノ間
ニカ全ク國民黨一派專制ノ政府トシマヒマシタ重慶政府ノ國民黨
專制ニハ蔣介石ノ武力カ裏付ケテ居マスカラ政府ノ力カ尙ホ存シ

外務省

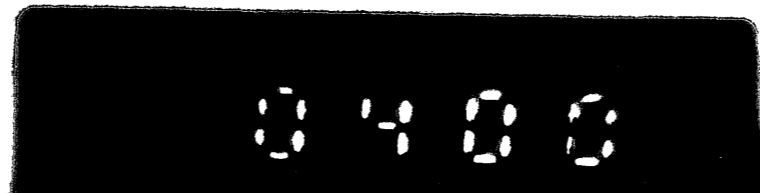


テ居マスカ南京政府ニ至ツテハ裏付ケルヘキ武力ヲ持タスシテ
民黨一派ノ專制ヲ爲サントスルノデアリマスカラ強力ナル政府ト
ナルコトカ困難デアリマス。從來上海方面ニ於ケル資本家、老政
治家等ハ何レモ共產黨ニ懸レテ抱キ之ニ近ツクコトヲ欲セテカ
タモノデアリマス。カ近頃ノ傾向ハ之等資本家老人連中等ヲ次
人ヲ介シテ共產黨ニ接近シテ云フ風ニナツテ來テ居リマス
大臣 甚タ残念デスカ之カラ議會ニ出テ答辯ヲ爲ス必要カアリマス
ノ折角ノ御話ヲ充分ニ承ルコトカ出來マセヌカ私ノ後ニ林出カ
居殘リマスカラ此際緩々ト御話シテサレンコトヲ望ミマス、何
レ後ニ林出カラ御話ノ次第ヲ聴キ取ルコトニ致シマス
大使 大臣閣下ハ御多忙デセウシ私モ之デ失禮致シマス
大臣 ソレニハ及ヒマセヌ、何ウカ林出ト御話ヲ願ヒマス
一斯クテ大臣ハ大使ニ握手ノ上室外ニ出テ行カレ大使ハ室内ヲ留マ
リ更ニ引續キ林出ト談ス

外務省

大使 先般上海ニ歸ルニ當リ總理大臣及外務大臣ニ會見シテ全面和
平問題ヲ論シ總理大臣外務大臣ノ御意見モ充分ニ伺ヒ得タノデ上
海ニ於テ此方面ノ消息ヲ確メ何トカシテ兩國和平ノ道ニ光明ヲ發
見セシモノト思フテ上海デ各方面ニ手ヲ盡シテ見マシタガカカル
問題ハ短時日デハトカカ容易ニ抄ルモノデハアリマセヌ
然ルニ陳主席代理カ日本ニ來ルコトトツタ爲備カニ半ヶ月位ノ
滞在デ上海ヲ切リ上ケテ來タ爲何等懸ツタル消息ヲモ得ルコトカ
出來ス其儘歸任シタ様ト次第デ甚タ残念デアリマシタ。私ハ近キ
内ニ又々上海ニ歸ツテ此問題ニ着手シテ見タイト思ツテ居リマス
總理大臣ニシテモ外務大臣ニシテモ實ニ公明正大ト考デ日支兩國
關係ノ調整ヲ念願シテ居ラレルモ自分ノ駐日大使トシテ赴任シテ
來タノモ全ク此問題ヲ解決シタイト云フ念願デ來タノデアリマス
カラ日支兩國關係改善ノ上ニ何等貢獻スルコトカ出來タイトスレ
ハ自分カ大使トシテ在職スルコトモ全ク無意味トトル次第デス、

外務省

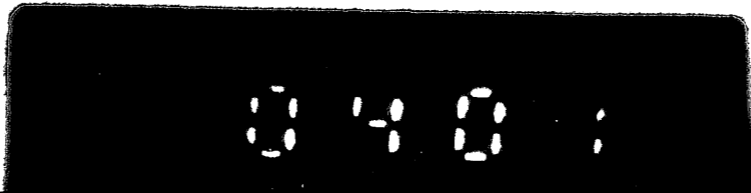


自分ハ此際一人ノ在野人トシテ働イタ方カ反テ貢獻シ易イイデハ
ナイカト思ハレマス。大使ノ職ニ在ルコトカ或ル場合ニ反テ邪魔
ニナルコトカアリマス。重慶政府トシテハ米國ノ壓迫ト利ヲ以テ
スル甘言ニ依ツテ如何トモ爲シ難キ立場ニアリマス。將來米國ノ
勢力ニ依リ支那ノ蒙ル憂慮スヘキ事態ヲ知ラサルニハアラサルモ
今更米國ヲ振り捨テルコトハ到底爲シ得ナイ所デセウ、現在重慶
政府部内ニ於テ最モ注育スヘキ人物ハ宋子文デアリマス。彼ハ一
方米國ト密接ニ連絡シ又一方延安政府トモ一脈通シテ双方ヲ利用
シテ重慶政府ヲ保持セントシテ居リマスルガ將來ハ宋子文ト交渉
シテ日支關係ヲ處理スルコトカ肝要ト思ハレマス。自分ハ宋子文
ト接觸スルニ極メテ適當ナル人物ト深キ關係ヲ持ツテ居リマス。
將來必要ノ場合ニハ此人物ヲ通シテ宋ト交渉スルコトカ出來マス
北京ノ王克敏氏ハ如何トル考ヘテ持ツテ居ルカ知リマセヌカ彼ハ
宋子文トハ深キ關係ヲ持ツテ居リマス彼モ宋子文ト交渉ヲ進ムル

外務省

コトノ出來ル重要ナル人物ト思ハレマス。自分ノ考ヘテハ宋子文
ト日支關係ノ處理ニ就テ交渉スル日カ來ルモノト思ハレマス。而
シテ彼ヲシテ米國側トノ交渉ヲ爲サシムルコトニスレハ良イト思
ハレマス。自分ハ上海ニ歸ル度毎ニ痛切ニ考ヘサセラルルコトハ
上海ノ物價高テ人民一般ノ苦シンデ居ルコトヲ。全く地獄世界デ
アリマス。同胞ノ苦痛ヲ見ルニ忍ビマセヌ、何トカシテ之ヲ一日
モ早く救済セネハナラヌト思ハレマス。日支兄弟ノ兩國カ互ニ血
ヲ流シテ戦フト云フコトハ實ニ愚ナコトデアリマス。一日モ早く
此兄弟ノ争ヒヲヤメネバナリマセヌ。支那ノ人々モ亦之ヲ切望シ
テ居ルノデスカラ何等カ良キ道ヲ發見シテ之ニ准メル様ニ努力セ
ネハナラヌト思ヒマス。自分ハ駐日大使トシテ其責任ノ極メテ大
ナルコトヲ痛感致シマス。自分ハ必ス上海ニ歸ツテ少クトモ一、
二ヶ月滞在シテ充分ニ此問題ヲ研究シテ見タイト思フテ居リマス
自分ハ此問題ノ解決ニ微力ヲ致シタイト思ヘハコソ駐日大使トシ

外務省



テ出テ來タノデアリマス、サモナク巴山中ニ隱遁シテ靜カニ書見
スル外ナイノデス。而シ自分ハソレハ出來マセヌ、力ノ及フ限り
此問題ノ解決ニ盡シタイト云フ念願デス。ソレ故若シ大使ト云フ
肩書カ此運動ニ邪魔ニナル場合ニハ辭任シテ一個ノ在野人トナリ
テ此問題ニ盡シタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデス。
自分ハ小磯總理大臣、重光外務大臣ニ懇意ニ願ヒ又兩大臣ノ日支
問題解決ニ對スル公明ナル考ヘト其態度ヲ充分ニ承知シ居ル故一
層此念ヲ強クシテ居ル次第デアリマス。今日ハ時間モ遅クナリマ
シタカラ御別レ致シ其中又一度會食デモシテ緩々此問題ヲ研究シ
テ談スルコトニ致シマセウ、重光大臣閣下ヘハ宣敷ク御傳言ヲ願
ヒマス何レ御招キシテ御高説ヲ拜聽スルコトニ致シマセウ（以上）

外務